

(様式1)

令和3年度 学力向上を図るための全体計画

| | |
|-----|-----------|
| 学校名 | 墨田区立言問小学校 |
| 校長名 | 井上 義郎 |

1 本校の学力に関する状況

(1) 墨田区学習状況調査結果から

| 成 果 | 課 題 |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none">・全ての学年が、国語・算数・社会の全ての観点において全国平均値を上回っている。(39 観点のうち 21 観点が 10 ポイント以上上回っている。)・同一集団において、1 回目の学力調査(第2学年時)と現在の学年の国語の標準スコアを比較すると、全ての学年で上昇している。・本校の平均正答率と、区の平均正答率の差を比較すると、昨年度は区平均から 0.9 ポイント上に対して、今年度 3.5 ポイント上昇した。 | <ul style="list-style-type: none">・第4学年、第5学年の理科は全国平均値よりも最大 5.1 ポイント下回っている。C層に重点をおき、基礎学力の定着を一層進める。・全ての教科に関係して、問題を正しく理解するために、読解力を高めていく必要がある。・記述問題の正答率が、学年が上がるに従って低い傾向にある。特に高学年の国語は二極化傾向が見られ、「情報の扱い方」、「読むこと」に重点を絞る必要がある。 |

(2) 意識調査結果から

| 成 果 | 課 題 |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none">・昨年度と比較して、今年度の全国平均が下がっている項目が多数あるが、本校は昨年度と同様または上回っている。・「自分なりに努力したことがうまくいって嬉しかったこと」に対して、全校の大多数が肯定的に感じているという結果であった。児童の努力を価値付ける声かけを学校全体で継続していく。 | <ul style="list-style-type: none">・第6学年の数値が全体的に全国平均値よりも低い。・第6学年の2クラス間のポイント差が大きい。特に「次に何をすべきか自分なりに判断しているか」「記憶に残っている授業があるか」の項目では、全国平均よりも 15 ポイント低く、また2クラス間で 30 ポイントの差がある。 |

(3) 墨田区学習状況調査や意識調査以外から明らかになっている学習に関する状況

| 成 果 | 課 題 |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none">・「言問スタンダード」の作成によって授業規律や学習環境を統一し、全教員で同じ指導ができるようにしたことで、児童が混乱なく学習に取り組んでいる。・第2学年以上の放課後学習の仕組みを改善したことで、参加する児童の意欲と集中力が向上している。・宿題改革を行い、「学校にいる間に取り組ませ | <ul style="list-style-type: none">・定期的の中身を見直し、状況や実態に合わせて内容を更新していく。・放課後学習は、本来は外部講師への委託であるが、担任が中心にならざるを得ない。・「学校にいる間に取り組ませる課題」のための |

| | |
|---|-----------------------------------|
| <p>る課題」と「家庭で行う課題」に分割したことで、個別指導ができ、児童の理解力向上につながっている。</p> | <p>継続的な時間の確保が難しく、日々の調整が必要となる。</p> |
|---|-----------------------------------|

2 本年度の学力向上に関する主な取組

(1) 「言問スタンダード」の作成と実施

- ・「言問スタンダード」を作成し、板書の仕方、ノートのとらせ方や発表のさせ方、教室環境等について、全教員で共通理解を図り実践する。
- ・校内研究との連携や、実態に合わせて、学校関係者や児童の声を参考にしたりしながら内容の改善を図り、全校実施する。

(2) 宿題改革

- ・今年度から、『学校で宿題（漢字、計算、日記、音読、自主学習等）が提示され、家庭で取り組み、翌朝提出する』という従来型の家庭学習をやめて、「学校にいる間に児童が取り組む課題」と「家庭で取り組む課題」に分割する。（第4・5・6学年）
- ・「学校にいる間に児童が取り組む課題」は「デイワーク」と称し、漢字や計算等の習熟に個人差のあるものや、理解を伴うものに取り組ませる。
- ・基本的には朝学習の時間を中心にデイワークを実施し、サポートの教員を配置して、習熟を補助する。学校で学ぶ内容を、学校にいる間にしっかり理解させることを目指す。
- ・「家庭で取り組む課題」は「ホームワーク」と称し、自主学習や日記、音読等の学習を指示する。

(3) 放課後学習「アタック」「言問塾」の仕組みの見直しと実施（週1回）

- ・第2、3、4学年対象の「アタック」は、前学年の学習内容を中心に組みませ、その日の課題が終了しても20分間は必ず学習させる。20分を過ぎれば、下校が可能となる。また、課題終了後は、アタックの終了時刻までその日の家庭学習に取り組んでもよいものとして、学習意欲を喚起する。
- ・第5、6学年対象の「言問塾」は、対象者を固定せず、評価テストで70点未満だった場合に参加してその単元の復習を行い、再テストを合格した後下校とする。

3 「令和4年度 墨田区学習状況調査」における目標

(1) 目標

- ・高学年の理科が、全国平均を上回るようにする。
- ・B層の20%をA層に上げる。
- ・C層の30%をB層に上げる。